



Super-DLC

ステン、アルミ、非鉄金属の切削工具
等に抜群の効果を発揮

IPX-D

膜厚も自在に変更、革新的技術ノウハウ
Magnetic Transformation Field Process

東セラIPX & PVD coating technology



TOKYO CERAMIC CORPORATION

東セラの最新のDLC膜

最強の密着力を保有、金型、切削工具に効果

IPX-D

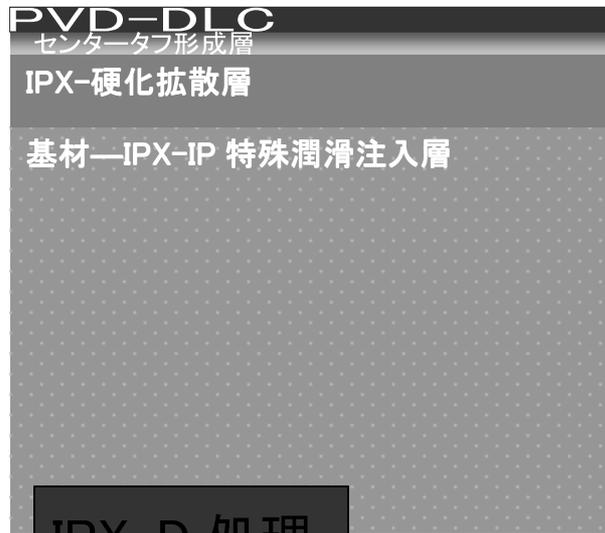
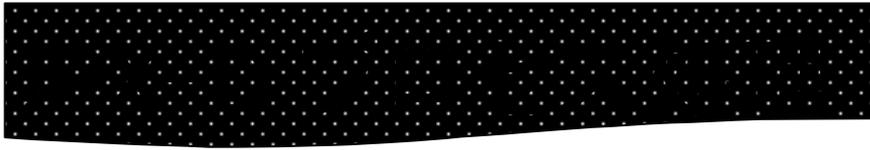
DLC 特性

Features、Characteristics

DLC コーティングの特に優れた機能として、低摩擦性、高耐摩耗性、高硬度性がある。これは摩擦、摩耗、潤滑に関する研究領域、塑性加工トライボロジーにとって大変魅力のある特長です。

IPX-D 処理は従来の DLC コーティングを大きく前進させた内容となっています。

- 基材との密着性の向上。
- ダイヤモンドにより近い高硬度性。
- DLC 膜厚の自在調整。
- IPX -D 処理は、潤滑性物質を注入しているためアルミ合金、ステンレス、樹脂の切削加工により高い効果を示す。ドライ切削加工に最適です。またグラファイトらの非鉄金属の塑性加工の治具に適します。
- 精密金型の複雑形状基材への均一成膜。
- 高い耐凝着性 鋭い刃先エッジ、刃先の溶着防止(摩擦係数:0.1以下)
- IPX-D 処理は数倍の高効率切削加工を実現。
- IPX-D 処理は低価格にて成膜します。



- ← 1~10ミクロン
- ← 1ミクロン
- ← 50~100ミクロン
- ← 400~600ミクロン

IPX-D 処理